

第4回倶知安町住居表示審議会 開催報告

1.日時

2021年12月24日（金）14：00～14：50

2.場所

倶知安町役場 2階 会議室

3.委員出席者

●委員出席者

- ・岩澤 豊
- ・北川 春樹
- ・阪井 啓司
- ・佐藤 英俊
- ・佐藤 文雄
- ・田中 義人
- ・吉田 聡
- ・渡辺 淳子 欠席

●参考人

- ・森広 浩二郎

●町参加者

- ・まちづくり新幹線課 遠藤課長
- ・まちづくり新幹線課 桜井主幹
- ・まちづくり新幹線課まちづくり係 西口係長
- ・まちづくり新幹線課まちづくり係 井上主事

4.議事

吉田会長：前回の審議会で新町名が決定し、公示をしたが、山田地区の住民から再度、新町名を検討して欲しいということで請願書が提出された。請願書は結果的に署名人数を満たしていないということで有効とはならなかったが、山田地区の住民の考えを尊重し、再度、新町名を検討することとした。今回、請願書を提出された代表として森広様に来ていただいているので、新町名に関しての意見をいただきたい。

事務局：10月に行われた第3回住居表示審議会で新町名と町割が決定し、11月2日から30日間の新町名と町割りについて公示をした。そして12月2日に請願書が提出された。今回、署名について個人情報の関係があり、資料としては載せていない。請願書のルールとして、住居表示を実施する地区に住んでいる住民50名以上の署名の提出が条件となっているが、今回、署名人数が満たなかったため、請願書は有効とはならなかったが、山田地区に住んでいる住民の意見を尊重し、今回公示の取

り消しを行い、再度、新町名を検討することとなった。

前回の検討内容はニセコひらふ中央がセンターヴィレッジ、北が泉郷周辺、南が羊蹄の里周辺、西がペンションヴィレッジ、東をヒラフのローソン周辺とし、現在の位置付けとなっている。

見直しのポイントとしては、東西南北中央に対して、位置が分かりづらい。町割りの数については現在5つだが、増やしたり、減らしたりと数についても検討する必要がある。この点を踏まえて考えや方向性を確認し、次回の審議会に向けて共有していきたい。

請願書と一緒に提出された住居表示案をご覧いただきたい。①～④の住居表示案を説明。この他にも皆さんで考えていただき案を出していただきたい。

今後のスケジュールについては今まで通りだと12月に町・字の区域変更と名称変更に関しての議会へ提案、1月に住居者への通知という流れだったが、再検討になった為、1月に新町名、町割りを決定し、1月～2月にかけて公示、2～3月に議会に提案という予定となっている。これで行くと令和4年度からはスケジュールに影響はない。

吉田会長：今回は新町名と町割を決定するわけではなく、皆さんに持ち帰っていただいて来年の1月の審議会で最終決定する予定になる。

それでは今回参考人として出席いただいた森広様に請願書を提出された経緯も含めてご意見伺いたい。

森広参考人：山田地区に事業所があり、関心を持って見ていたところ、公示された内容を見て、社内で東、西、南、北、中央の位置が分かりづらいという話になった。その後に色々な人の話を聞いていくと、東、西、南、北、中央がわかりにくいという意見が多数あったことから、代表し請願書を提出させていただいた。

請願書の署名を集める中で様々な案を頂き、4パターンを考えた。

①ニセコひらふだけではなく、東ニセコひらふにし、それぞれ上下で分ける。

②東、西、南、北、中央にこだわるのであれば、この位置になる。

③ニセコひらふ西、ニセコひらふ東2つに分ける。

④ニセコひらふアップーヴィレッジ、ニセコひらふローワーヴィレッジ、ニセコひらふイーストヴィレッジを3つに分ける。

「ニセコひらふ」という新町名については、アンケートで決められたこともあり、あまり不満はみられなかった。

吉田会長：森広さんの意見を踏まえて、各委員に意見を述べてもらいたい。

岩澤委員：この4つの案からだ②が一番位置がわかりやすく良いと思う。山田温泉を中央とこだわらずに位置的な観点から考えた方良いと思う。

北川委員：東、西、南、北、中央が一番わかりやすい。②の案は明確でわかりやすい。

佐藤英俊委員：センターヴィレッジはひらふスキー場が一番最初にできた場所で歴史が古く、中央だという思いがあったが、消防の北川委員からのお話を聞いてと、一番考えているところは緊急車両の速やかな配置だったので、警察や消防の意見を最優先に聞いた方が良いと思う。

佐藤文雄委員：センターヴィレッジが中央というこだわりがある。地形的な部分では中央ではないが、歴史的な観点や顧客の集約度を考えると中央という名やそれにふさわしい名があれば良いと思う。

吉田会長：③と④はどうですか。町名を減らしている形だが。

岩澤委員：2つに分ける案もすっきりして良いかと思う。しかし、地域が絞りきれないのではないか。

吉田会長：消防からの観点だと5つくらいの地域に分けた方が良いか。

北川委員：5つくらいに分けた方が良い。例えばニセコひらふ南に行ってくれと言われた時に大体場所のイメージがつく。緊急車両を運転する立場からだ東、西、南、北、中央の方向だけでも分かれば精神的にも安心して場所へ向かうことができる。

吉田会長：町割は5つで分ける考えでよろしいか。

各委員：全員賛成。

吉田会長：これから具体的な名称を検討していく。

佐藤文雄委員：分け方としては②なのだが、歴史的にも一番古い山田温泉の地域がニセコひらふ西ではなく、何か良い名称がないか。

森広参考人：②を考えた時に位置的には合っているが、ニセコひらふ中央に住んでいる人が2世帯くらいしかないのも現状である。今後開発により、居住する人が増える可能性があるが、ニセコひらふ西の部分を中心と付けたい気持ちはわかる。

名称はニセコらしさが何となくあった方がよい。倶知安町はスキーの町、山の町であり、京都で言うと上京区、下京区というように山頂（ピーク）をニセコひらふ西頂町（山頂の頂）、ペンションヴィレッジをニセコひらふ南麓町（山麓の麓）としても良いと思う。

佐藤英俊委員：歴史的に考えて、センターヴィレッジ地区をニセコひらふ元町にすると良いと思う。

吉田会長：ニセコ町の元町と混同する人がいる。タクシーとかでニセコ町元町に行く人が出てくると考えられる。

吉田会長：将来、樺山を見据えて、西を外すのはどうか。

岩澤委員：ニセコひらふ西は位置を把握する観点から残した方がよいと思う。

森広参考人：当初の資料を拝見させていただくと、外国人の事故件数が多く、緊急車両が到着しやすくすることや初めて来る観光客に目的地をわかりやすくするために住居表示を実施すると認識している。西を外すと位置の把握が難しくなると考えられる。

岩澤委員：②の図でニセコひらふ中央の真ん中に川があり、それを取り除くことができるのか。

事務局：取り除くことはできないが川を挟み、離れているが中央という呼び方は可能である。

森広さん：④のアップーヴィレッジ、ローワーヴィレッジ、イーストヴィレッジは名前にカッコ良くなる。

佐藤文雄委員：名前が長い。印刷物や印鑑を作るときに文字数が増えると手続き等で大変だと思う。

北川委員：③、④は範囲が広すぎて、5つくらいに分けたがほうが良い。緊急車両の招集がかけられた時に町割りが2つ、3つだと場所のイメージが付きにくい。

田中委員：東、西、南、北、中央の位置関係がわかりづらいというのであれば、東、西、南、北、中央を取っ払って、1条、2条、3条という風にした方がシンプルじゃないか。

佐藤文雄委員：山田温泉地区を1条にして、決めていけば良いと思う。

森広さん：位置関係が合っていれば大丈夫だと思うが東、西、南、北の方が外国人や観光客はわかりやすいと思う。だが数字にしても問題は無い。

吉田会長：1条～5条で意見をまとめてもよろしいか。

各委員：全員賛成。

事務局：1条～5条で進めていく。年明けに所管の委員会に報告し、そこから30日間の公示に入る予定。

各委員：了解した。

田中委員：公示の関係で議会の一般質問でも出ていたように重要な公示文書をホームページでわかりやすく周知していただきたい。

事務局：公示文書を分かりやすく掲示できるよう、役場内で調整していく。

田中委員：了解した。